

フォークリフト大会、優勝選手は初出場入社3年目の伏見さん ～主役は物流を陰で支えるリフトマン～

ポリマー品に特化した輸送のダイセー倉庫運輸株式会社は、社内リフトマンの各種技能・安全意識の向上、モチベーションアップを目的として、6月3日（土）に第16回フォークリフト技能競技大会を開催しました。当日は全国の拠点から集まった13名の精鋭選手が学科試験、始業前点検競技、運転競技の合計点を競い、今回大会では入社3年目の伏見優作選手が初出場にして優勝しました。

始業前点検競技では、パートナー企業であるトヨタR&F中部(株)の担当員が事前に点検車に不具合箇所を用意し、選手は時間内に全ての不具合箇所を正確に指摘することを目指しました。運転競技では4分30秒～5分の制限時間内で129のチェック項目を実施し、正確な荷物運搬に挑戦しました。



個人の部で初優勝を果たした伏見優作選手は、「練習期間は3週間とやや短かったが、仕事後に時間を作って練習した。技術を磨けば仲間が困っている時にさっと手を差し伸べられるのがフォークリフトの魅力。仕事で事故・ミス無しを続けていると、自分もリフトマンとしてやれているな、と感じる」とコメントしました。

ダイセー倉庫運輸は毎年6月に開催される県大会にも出場選手を輩出しており、本大会の競技も県大会・全国大会を意識した内容となっています。

● 競技結果（学科100点満点、始業前点検競技100点満点、運転競技600点満点の合計800点満点）

個人の部

- 1位 686点 小牧第2物流センター 伏見優作 選手
- 2位 645点 本社物流センター 土井和樹 選手
- 3位 627点 本社物流センター 和田隼輔 選手

センターの部

- 1位 小牧第2物流センター
- 2位 本社物流センター



<ダイセー倉庫運輸株式会社について>

ダイセー倉庫運輸は、中部地区（愛知・岐阜・三重）を中心にポリマー（石油化学品）に特化した独自の物流ネットワークを持ち、自動車関連の石油化学品企業様に対し「ジャスト便」という物流サービスを展開してまいりました。中部地区で培ったジャスト便のノウハウを日本全国へ拡大すべく、ジャパンポリマーライン（JPL）構想を立て、2029年に全国ネットワーク確立を目指しています。またJLC（Japan Logistics Connect）という、配車担当者同士がネットワークをつなぐことでトラックと荷物をマッチングする新規事業を始めました！

< 本件に関する報道関係者からのお問合せ先 >

ダイセーホールディングス株式会社 広報チーム

担当：齋藤（携帯：080-9092-6514）

TEL：03-5212-8988 FAX：03-5212-8989 E-mail：dhd-pr-ict@daiseihd.co.jp

■当日会場の様子



画像素材は下記に格納しています。

https://drive.google.com/drive/folders/1oBwUH-XxCXCiCS--G3_wjn4E-tQ4lBeP?usp=drive_link

＜ 本件に関する報道関係者からのお問合せ先 ＞

ダイセーホールディングス株式会社 広報チーム

担当：齋藤（携帯：080-9092-6514）

TEL：03-5212-8988 FAX：03-5212-8989 E-mail：dhd-pr-ict@daiseihd.co.jp